

猛暑や巨大な台風、これまでになかった規模の山火事。地球温暖化の影響による異常気象や自然災害は、年々発生頻度が増えています。実際に、気温の上昇や天候の変化による不作、農作物の成長を阻害する害虫の出現などが観測され食の供給システムの持続可能性が問われています。このような食に関する課題を解決する可能性を持つアイデアが世界中で生まれています。陸上植物を水中で生産する世界初のプロジェクト水中菜園「Nemo's Garden」は、大きな風船のような6つの透明なプラスチックのドームで構成されている。それぞれのドームは水面下約15～36フィート（約4.5m～10m）の深さに浮かんでおり、ロープやネジで海底に固定されている。ひとつのドーム内には90以上の苗床が備えられ、レタスやバジルといった植物や野菜を栽培することができる。この水耕栽培では、植物の根に栄養素や水分を供給する肥沃な土壌を必要としないことが特徴。干ばつや砂漠化などにより陸上での農業が難しくなっても、将来的には海の中で植物を生産することが可能になるかも知れず、さらに水中菜園のプロジェクトは、長期的な視点で環境に悪影響を与えない農業の形態を目指しているため、太陽の光と、海水淡水化による新鮮な水から生み出された再生可能なエネルギーシステムを動かすために使用している。24時間365日監視され、細かいデータの計測が行われているため、最適に管理された環境下で植物を生産することができる。今まに行われている世界で初めての水中菜園の実験。もちろん、地球温暖化による気温上昇や気候変動は最小限に抑えるように取り組みを行なっていくかなければならない。しかし、食の生産方法が多様化することは、イタリアだけでなく、世界のあらゆる所で貧困や飢餓に苦しむ人々の救いになる可能性も有ります。

私は常日頃地球の飢餓や貧困は人間の叡智で必ず克服できると信じています。我が日本でも海藻産業・食文化・地域社会・海の生態系の中に、よい循環が生まれる社会の仕組みづくりも目指している合同会社シーベジタブル代表を務める蜂谷潤（はちやじゅん）氏と友廣裕一（ともひろゆういち）氏の二人が挑戦するのは、絶滅の危機にある海藻の再生と新たな「海藻食文化」の創造。

「1980年頃には全国に20万ヘクタールあった藻場が、現在は10万ヘクタールくらいまで減っていますが、これは単に、海藻が食べられなくなってしまう、という人間にとっての問題だけではありません。藻場はいわば、海の森。水生生物の産卵・繁殖の場所として海の多様性を支え、また海中への酸素供給を担っています。そのため、海藻の減少が地球環境に与える影響も少なくなく、大学在学時から海藻に興味を抱き、画期的な海藻栽培の技術を発明した蜂谷さん。現在ではシーベジタブルとして全国各地に拠点をもち、海藻の陸上栽培・海面栽培をおこなっています。いま、日本の海藻に何が起きているのか。そして、シーベジタブルは海藻の栽培を通じて、どんな未来を創出しようとしているのか。蜂谷氏は「藻場が魚の隠れ場所になるだけでなく、生物ピラミッドの底辺となる海藻植物プランクトンの産まれる場所でもあります。数ミリ単位のヨコエビやワレカラといった小さな生き物がいて、それを食べる小魚がいて、大きい魚がいて・・・、藻場がなくなればプランクトンや小魚が減ることで海中の栄養分も減少し、そこに支えられている生物多様性も消えてしまうんです。そんな背景を飛ばして、『大型魚がいなくなったぞ！マグロが減ってる！』みたいな報道ばかりがされています。」海藻産業・食文化・地域社会・海の生態系の中に、良い循環が生まれる社会の仕組みづくりも目指しています。

身近な現象でも富山の白エビやホタルイカ、石川県のスルメイカなどが9割減、サンゴ礁と極端な減少は温暖化の影響や地殻変動などでしょうが廃プラや生活（特に規制の緩い発展途上国の）工業廃水などなども。米騒動は明らかに人そのものの政策に起因しますが、高邁な志を抱いている若者達には善の循環を触発し果敢に諸問題を解決して頂けると信じて居ます。



5月15日～17日 産業展示館3号館

今年あまり天候に恵まれず来場者数が昨年よりも少なかったのですが導入済のお客様を含めたくさんの皆様にブースへお立ち寄りいただきました。

MEX金沢 2025



学生特別企画では学生さんがブースへ来てくださり、会社説明を行いました！今回は男性だけでなく女性にもお立ち寄り頂きました。



白山市 クリーン作戦

5月8日(木) 7時 汗ばむような陽気の中、弊社から20数名で清掃作業を行いました。清掃箇所や役割分担をし効率良く作業することができました。早朝より参加した皆さん、お疲れ様でした。



新就職者フォローアップ研修

2月28日
金沢雇用推進協議会主催

入社3年以内の社員を対象としたフォローアップ研修が開催され、当社からは小松さん・中村さんの2名が参加しました。参加者1人1人によるプレゼンテーションやグループトークで仕事の経験から得たことを発表しました。今後の仕事でも活かせるよう、活躍に期待します。



仕事内容についてプレゼンする小松さん



グループワークで他社の方と意見交換する中村さん



会社説明を行う小松さん

わたしの休日

今年のゴールデンウィークは故郷の岐阜にある岐阜城に行ってきました。城下には『楽市楽座』という新しい施設もでき大変な賑わいでした。(混雑し過ぎて写真撮れないくらいでした～)

帰りには岐阜駅に入っている養老軒のフルーツ大福を購入♪

ここのフルーツ大福は生クリームぎっしり+フルーツがいっぱい入っており今からの季節でもさっぱりと頂け、とってもおススメ🌟

岐阜も車で2時間強で行けますので岐阜城に寄ってからの養老軒のフルーツ大福コース。みなさんもぜひいかがですか？

管理部 財務経理係 横川



清風会主催 新入社員歓迎会

4月18日 フラワーガーデン



緊張気味の吉村さん



新入社員を交えてハイチーズ♪



司会進行は幹事の北さん

6月15日入籍

アインさん

(第4係・旋盤加工)



ホアさん

ご結婚おめでとうございます♡

末永くお幸せに・・・



HAPPY WEDDING

この方言どこの言葉かな？

①『さら』

例) その服、さらぴんやね～

②『なおす』

例) それなおしといて～

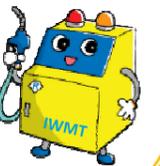
※私たちが使いますが違った意味で使われているみたい

始まりました新企画！！

岩本工業にも石川県出身者だけでなく他県出身者も増えてきました。そこで色々なお国言葉を学んだり、あなたが使っている言葉が実は方言かも？！

そんな発見を楽しんでいただけたいな～

例を参考にどこの方言・どんな意味か当ててみてね♪
結果は次月号のお楽しみです。



REPORT

【新人教育 (5S活動の基本)】

何を学んだか

- ・5S活動の基本
- ・整理の進め方のポイント
- ・整頓の原則
- ・清掃のポイント (日常清掃、点検清掃、清掃保全)
- ・清潔 (予防整理、予防整頓、予防清掃)
- ・躰

自身のアクションプラン

- ・工具棚の整理 (必要なものだけを置く。壊れたもの、不要なものは捨てる。)
- ・チャック爪の整頓 (頻繁に使う爪を前へ、そうでない爪は後ろへ。爪の番号を見える化)

石川県鉄工機電協会主催

4月22日 第4係 小松



編集後記

梅雨の時期がやってきました。北陸地方も例年より早い梅雨入りとなりました。梅雨入りしたと思えば夏日の日が続いていますので、体調管理が重要ですね。汗をかくと塩分も失われ熱中症予防として、水分+塩分補給とよく聞きますが『牛乳』には水分だけでなく適量のナトリウムが含まれているので、熱中症を防いでくれる強い味方ようです。普段の水分補給に牛乳を取り入れてみるのも良いかもしれませんね。

下津